

### ①亜海莉丸（あみりまる） 久高組合員（糸満漁協）

- ・カインズで市販されている塩ビパイプにて「海水こし器」複式・単式を自主製作。
- ・製作には金物屋である伊敷工具よりアドバイスを得て試行錯誤し製作したとのこと。
- ・海水の循環を機関室から船上へ移し、軽石詰まりのメンテナンスを安易にしたとのこと。船上左舷側ブリッジに設置。
- ・片方の「海水こし器」に軽石が詰まった場合は、もう片方に切り替え、エンジンを止めずに「海水こし器」を外し、キャップを開けて中身の軽石を捨てる作業を交互に行うとのこと。
- ・ホースから海水の排出が少なくなると軽石が詰ってきている知らせなので、軽石の除去作業に係るとのこと。
- ・船底キングストーンへの軽石詰まりには、海水を逆噴射し、船外へ排出するとのこと。
- ・漁船により異なるが複式で製作費用は5万円程度（単式は3万円程度）である。
- ・「海水こし器」が透明（スケルトン）ではないのは、軽石自体、研磨素材なため、後々こすれて外から中身が見えなくなることを想定して、あえて安価な素材で製作したとのこと。
- ・海上でのテスト及び数回パヤオ操業に出ているため、実証済みであるとのこと。

### ①亜海莉丸(久高組合員)



↑左舷側ブリッジに複式「海水こし器」



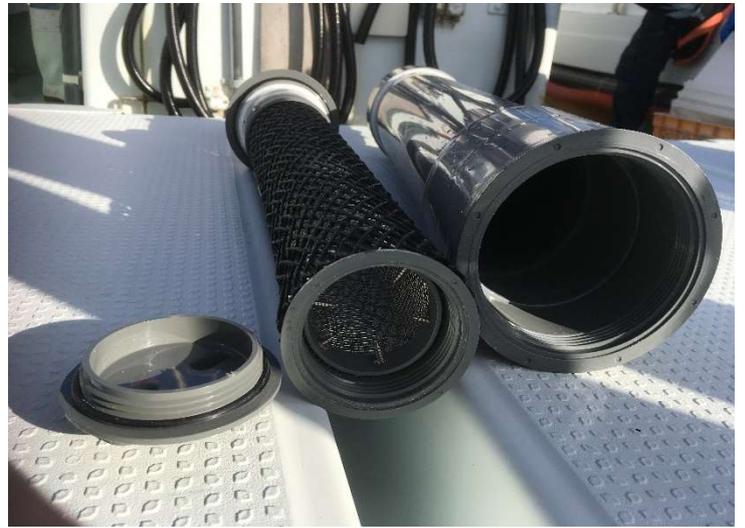
↑ 機関室から船上へ



←ホースから海水の排出が少なくなると  
軽石が詰ってきている知らせ。

カインズで市販されている塩ビパイプにて自主製作。





↑ 中の網は2層（内側金網、外側雨トイを使用

